

卒業研究および演習のシラバス新設

教務担当会議

1. 趣旨

本学における教育の内部質保証の一環として、卒業研究および演習科目について、他科目同様、科目の到達目標およびディプロマ・ポリシーとの関係が明記されたシラバスを新設する。

2. 様式**(1) 構成**

すでに 2025 年度より導入が決まっている新シラバス様式に準じる。ただし「授業スケジュール」は、授業回ごとではなくおおよその時期ごとに、科目のテーマと内容を記載する。

(2) ポイント

卒業研究および演習の到達目標が明記されていることが重要。到達目標は、同時に当該科目の成績評価項目でもある(項目それぞれ達成程度は、履修規定に記載の「成績評価基準」を参照)。

到達目標の例(1)

卒業論文を執筆する。つぎの項目の達成を目標とする。

- ①問題設定と研究の目的が明確に述べられていること。
- ②先行研究のレビューが十分になされ、適切に引用されていること。
- ③新規性・特徴が明確に述べられていること。

到達目標の例(2)

青森県の〇〇業の経営実態について調査・分析する。つぎの項目の達成を目標とする。

- ①調査設計が適切であること。
- ②取材のアポイントメント等、調査の手配を適切に行っていること。
- ③成果をわかりやすく報告していること。

3. その他

2025 年度春学期より導入。

青森公立大学 経営経済学部
シラバス作成要項【2025.1 改訂版】

1. シラバス様式

(1) 授業の方法

次のどちらかを記入してください。

- a. 講義、演習、実験、実習、実技のいずれかで実施する場合、該当する方法
- b. 講義、演習、実験、実習または実技を併用する場合、該当する組み合わせ

(2) 科目の到達目標

成績評価基準によって学生の達成度を評価するための到達目標を記入してください。講義の進捗目標ではありません。当該科目により学生が獲得することを期待される能力について、具体的な項目を簡潔に記載してください。

成績評価基準

| 成績表示 | 評価基準 | 評価 | 定義 |
|------|---------------|----|--------------------------------|
| A | 80 点以上 | 秀 | 当該科目で定められた到達目標を、特に優秀な水準で達成している |
| B | 70 点以上 80 点未満 | 優 | 当該科目で定められた到達目標を、優れた水準で達成している |
| C | 60 点以上 70 点未満 | 良 | 当該科目で定められた到達目標を、良好に達成している |
| D | 50 点以上 60 点未満 | 可 | 当該科目で定められた到達目標を、最低限達成している |
| F | 50 点未満 | 不可 | 当該科目で定められた到達目標を、達成していない |

(3) ディプロマ・ポリシー(DP)との関係

学生による当該科目の目標達成が DP のうちどれに関係するか、該当するものすべてに○を付してください(※該当する項目枠内の真ん中あたりをクリックすると○が表示されます)。ACB・教養・キャリア教育科目は学部の DP から、専門科目は学部の DP および学科の DP から選択してください。

学部の DP

| DP1 | DP2 | DP3 | DP4 |
|--|---|--|--|
| 経営学・経済学分野における知識を体系的に学び、複雑化する現代社会を複眼的な視点で捉えることができる。 | その専門性を自己存在や社会・文化および自然に関する学びと関連させて深め、より統合的に把握された理解へと進展させることができる。 | 社会生活を営むうえで必要なコミュニケーションや情報リテラシー等の技能を身につけるとともに、地域社会の一員としての自覚をもち、自己を律し他者と協働して、地域社会の発展のために積極的に関わることができる。 | 得られた知識や技能を活用して、自らの課題を発見し解決しようとする姿勢を保持し、自分自身の生き方の根源を見つめつつ、生きることが学ぶことであるかのように、生涯にわたって学びを続けることができる。 |

学科の DP

| | DP1 | DP2 | DP3 |
|---------|---|--|--|
| 経営学科 | 市場はもとより、多様な環境の変化に適応するだけでなく、自らが戦略的に変革を目指し、実践できる人材 | 組織と個人の関わり合いや、組織における複雑な人間関係の問題に焦点をあてながら、多人数の協働を確立し、維持・発展できる人材 | 会計データを読み、資金の調達や運用に関わる財務上の問題を見出し、それに関する解決策を提示できる人材 |
| 経済学科 | 金融、証券の専門知識をもとに、各種企業、組織でのファイナンスの問題を解決できる人材 | 行政や非民間部門における政策分析を行う能力をもつとともに、プロとしての評価や判断が的確にできる人材 | 企業経営、地域経済、国際経済等の様々なレベルで生起する経済問題を分析する能力をもち、それを解決できる人材 |
| 地域みらい学科 | 地域の基幹産業や地場産業等の経済活動領域において、新たな事業を創造し、複合事業の開拓を目指す、地域ビジネスの起業家、リーダーとなる人材 | 自治体、社会的企業、NPO 等の公共活動領域において、ビジネス感覚に満ちた政策立案、実行、新たな組織運営を目指す、地域行政、地域コミュニティ推進のリーダーとなる人材 | |

(4) 教科書

受講するために、学生による購入・用意が必要な書籍のみを記入してください。

(5) 指定図書および参考書

講義に関連し、担当教員が学生に読むことを強くすすめる書籍を記入してください。記載された書籍は図書館で購入し、「指定図書」は指定図書コーナーに 10 冊程度、「参考書」は一般図書コーナーに 1 冊、配架します。学生への貸出期間は指定図書 3 日間、参考書 2 週間（レファレンス資料の場合は館内利用のみ）です。

現在入手困難な書籍は記入しないでください。他の図書館等で閲覧可能な場合には、閲覧方法を明記してください。

(6) 学修の課題、評価の方法

評価の方法は、可能な限り具体的に記入してください。

単位を認定するには、その授業に「出席」し、かつシラバスに書かれた到達目標に対する「到達度」が一定割合に達している必要があります。授業中の活動・貢献を評価に反映させることはできますが、出席の事実のみを「出席点」として点数化し、到達度に算入することはできません。「授業内活動」「授業への参加」「授業への貢献」を得点化して評価に反映させることはできます。出席だけすればよいと誤解されないような表現にしてください。

(7) 実務経歴

大学ウェブサイトのシラバス関連ページにある「実務経験のある教員等一覧表」に記載された教員が記入してください。その際「実務経験」欄の内容をそのまま転記してください。それ以外の教員は「該当なし」と記入してください。

(8) 授業スケジュール

期末試験の実施方法(筆記試験の実施、レポート課題の提出等)を、最下段の「試験」欄に明記してください。

成績評価を目的とした中間試験等のみの授業回を設けることはできません。理解度の自己確認やまとめを目的とした小テスト等を授業中に実施することはできます。

(9) その他作成上の注意

- ① Microsoft Word を使用し、空白欄が生じないように作成してください。また、原稿を提出する前に、各自でプリントアウト時の仕上がりをご確認いただき、印刷可能状態でのご提出にご協力ください。
- ② 1 単位科目は 2 ページ、2 単位科目は 3 ページ、4 単位科目は 4 ページに収めてください。

2. 内容の確認

学生に公開される前に、提出原稿はすべて、内容が本要項に則しているかを教務担当会議で内容を確認します。その結果、修正を依頼する場合があります。

卒業研究および演習科目用シラバス（新設案）

| | | | | | | |
|---------------------------|--|---------------|-----|-----|-----|-----|
| [科目名] | [単位数] 単位 | [科目区分] | | | | |
| [担当者] | | [授業の方法] 演習 | | | | |
| [演習テーマ] | | | | | | |
| [演習内容] | | | | | | |
| [科目の到達目標] | | | | | | |
| [ディプロマ・ポリシー (DP) との関係] | | | | | | |
| 学部 | | | | 学科 | | |
| DP1 | DP2 | DP3 | DP4 | DP1 | DP2 | DP3 |
| [前提条件] | | | | | | |
| [学修の課題、評価の方法] (テスト、レポート等) | | | | | | |
| [教科書等] | | | | | | |
| [実務経歴] | | | | | | |
| 授業スケジュール | | | | | | |
| 時期 | テーマと内容 | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | ※行数は適宜、加減してください。ただし全体で2ページ以内に収まるようにしてください。 | | | | | |

2025 年度演習科目募集要項(改訂案)

| | | |
|---------------------------------|-----|---|
| 演習科目名 | | |
| 担当者 | 定 員 | 名 |
| 第1次募集に関わるオフィスアワー (通常のオフィスアワー含む) | | |
| 第1次募集の選考について | | |

※科目の内容については、シラバスを参照のこと。

2024 年度演習科目概要(現行使用様式)

| | | | |
|--|-----|-------|------|
| 演習科目名 | | 担当教員名 | |
| 開講時期 | 定 員 | 名 | 実務経歴 |
| 演習テーマ | | | |
| 第1次募集に関わるオフィスアワー (通常のオフィスアワー含む) | | | |
| 第1次募集の選考について 選考方法： 選考場所： 選考日時： 成績通知書等提出を要する書類の有無等： | | | |
| 前提条件 | | | |
| 演習内容 | | | |
| テキスト | | | |
| 参考書 | | | |

通常講義科目シラバス原稿(1 単位用)【2025 春改訂版】

| | | | | | | | |
|---|-----|------------|-----|-------|---------|-----|--|
| [科目名] | | | | [単位数] | [科目区分] | | |
| | | | | 1 単位 | | | |
| [担当者] | | [オフィス・アワー] | | | [授業の方法] | | |
| | | 時間: | | | | | |
| | | 場所: | | | | | |
| [科目の概要] | | | | | | | |
| [「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか] | | | | | | | |
| [科目の到達目標] | | | | | | | |
| [ディプロマ・ポリシー (DP) との関係] | | | | | | | |
| 学部 | | | | 学科 | | | |
| DP1 | DP2 | DP3 | DP4 | DP1 | DP2 | DP3 | |
| [学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫] | | | | | | | |
| [教科書] | | | | | | | |
| [指定図書] | | | | | | | |
| [参考書] | | | | | | | |
| [前提科目] | | | | | | | |

| | |
|---------------------------|-------------------------------------|
| [学修の課題、評価の方法] (テスト、レポート等) | |
| [教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望] | |
| [実務経歴] | |
| 授業スケジュール | |
| 第1回 | テーマ(何を学ぶか): 内 容: 教科書・指定図書 |
| 第2回 | テーマ(何を学ぶか): 内 容: 教科書・指定図書 |
| 第3回 | テーマ(何を学ぶか): 内 容: 教科書・指定図書 |
| 第4回 | テーマ(何を学ぶか): 内 容: 教科書・指定図書 |
| 第5回 | テーマ(何を学ぶか): 内 容: 教科書・指定図書 |
| 第6回 | テーマ(何を学ぶか): 内 容: 教科書・指定図書 |
| 第7回 | テーマ(何を学ぶか): 内 容: 教科書・指定図書 |
| 試験 | |